

第1 歳入

一般会計 諸収入

事業名等	事業費	内容と成果
「わたしの便利帳」広告料	1,335,000 円	<p>「わたしの便利帳」に有料広告欄を設け、広告掲載について公募したところ 29 事業者からの申込みがあり、当該事業者の広告を掲載した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 120,000 円 (1/2 ページ: 裏表紙内側 4 色) × 2 件 = 240,000 円 ・ 110,000 円 (全ページ: 本文中 2 色) × 1 件 = 110,000 円 ・ 60,000 円 (1/2 ページ: 本文中 2 色) × 9 件 = 540,000 円 ・ 35,000 円 (1/4 ページ: 本文中 2 色) × 7 件 = 245,000 円 ・ 20,000 円 (1/4 ページ: 本文中 2 色) × 10 件 = 200,000 円

第2 歳出

1 一般会計 (1) 総務費

事業名等	事業費	内容と成果
1 電話交換業務委託	7,243,950 円	<p>電話交換業務を委託し、電話受付及び業務の円滑化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内訳 電話交換手 2 名 勤務時間 月曜日から土曜日 午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで
2 もくせい会館雨漏改修工事	4,995,900 円	<p>雨漏りによる建物内壁への雨水の漏出があり、内壁の鉄筋の腐食、内壁の崩落の危険があるため、外壁サッシ部分の防水と内壁の補修を実施した。</p>
3 新庁舎建設事業	26,990,120 円	<p>新庁舎建設の基本計画策定にあたり、市民意見を取り入れるために公募市民 10 人、地域の団体推薦による市民 8 人、学識経験者 2 人による市民検討委員会を組織し、「検討結果報告書」を作成した。</p> <p>なお、議会においても「庁舎建設特別委員会検討結果報告書」が作成され、この 2 つの報告書を基に「新庁舎建設基本計画」を策定した。</p> <p>また、基本設計を作成委託する業者をプロポーザル方式にて選定するに当たり、基本設計者選定委員会を組織し、参加募集から選考まで計 3 回の公開委員会を実施し、慎重かつ公正に設計者を選定した。選定された設計者により、新庁舎建設の基本構想及び基本計画に示された基本方針を反映した基本設計を作成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新庁舎建設基本計画策定委託 7,770,000 円 ・ 新庁舎建設基本設計委託 17,325,000 円 ・ 庁舎現況調査委託料 299,250 円 ・ 市民検討委員会委員謝礼 952,000 円 ・ 基本設計者選定委員会委員謝礼 400,000 円 ・ 事務費等 243,870 円
4 人事考課(目標管理)研修	661,500 円	<p>事務事業の執行について、組織目標の効果的な達成を図るとともに、職員の意識改革、能力開発や職場の活性化を促し人材育成を図るため、目標管理の定着化と運用について研修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修会講師謝礼 661,500 円 ・ 実施回数 4 回

事業名等	事業費	内容と成果
5 判例集システム借上	356,580 円	加除式判例集を廃止し、判例集システムを導入することにより、<例規集・法令・判例>のデータとのリンクが可能となり、法令との適合性、法の解釈、係争処理での判例調査等の事務の効率化、改善を図るとともに、経費の節減を図った。
6 「いっしょに話そう、まちづくりフォーラム」の実施	176,693 円	市民がフォーラムを通じ、市政の実態及び課題について、認識を深めるとともに行政との協働又は役割分担に係る意識を高揚し、市民参画の促進を図ることを目的として実施した。 ・テーマ 景観フォーラム (都市景観基本計画の市民プラン発表など) ・参加人員 115 人
7 福生市総合計画(第3期)修正後期基本計画の策定	4,411,517 円	平成 12 年に策定した福生市基本構想に基づき進めてきた前期 5 年間の計画の進捗状況等の点検と新たな行政課題や市民ニーズに対応するため、計画に必要な修正を行い、今後 5 年間の行政施策の基本的方向、目標及び主要な施策を明らかにするため、「修正後期基本計画(平成 17 年度~21 年度)」を策定した。 ・成果品「福生市総合計画(第3期)修正後期基本計画」 ・A 4 判 500 部
8 防衛施設周辺まちづくり構想の策定	7,584,850 円	平成 15 年度に公募市民による横田基地周辺まちづくり会議での検討を基に、同会議の代表者による策定委員会においてとりまとめられた市民プランを参考として、防衛施設(横田基地)の存在を活用し、市民の利益及び福祉の向上に資する「まちづくり構想」を策定した。 ・成果品「防衛施設周辺まちづくり構想策定事業報告書」 ・A 4 判 300 部
9 低公害車購入	749,783 円	公用車の買替えにおいて公害防止、環境保全及び地球温暖化防止に配慮し、低公害車を購入した。 購入した課 企画調整課 749,783 円
10 基幹住民情報系システム移行委託	12,810,000 円	基幹住民情報系システムについて、サーバの処理機能を向上させ、ホストコンピュータによる一括処理を廃止し、クライアント PC の入替えにより安定した運用を目指すためシステム更新をした。 ・システム移行委託 9,450,000 円 ・据付調整委託 3,360,000 円
11 庁舎間ネットワークの高速化	1,992,900 円	平成 15 年度に引き続き、現行の I S D N 回線(64k b p s)を光ファイバー回線(10M b p s)に変更し、庁舎間のネットワークの高速化を図った。 ・平成 16 年度実施箇所 20 箇所 ・内訳 地域体育館 2 箇所、地域会館 4 箇所、リサイクルセンター、保育園 2 箇所、小中学校 10 箇所、児童館
12 都区市町村電子自治体共同運営業務委託	1,068,020 円	都区市町村電子自治体共同運営協議会の電子申請及び電子調達の実施に向け作業を行った。 ・電子申請 各種申請の電子化 12 手続を平成 17 年 4 月実施に向け準備 ・電子調達 指名参加業者登録の電子化平成 16 年 12 月実施
13 ホームページ運営におけるコンテンツ管理システム導入	2,246,568 円	市ホームページをリニューアルするに当たり、各課職員が容易にホームページを作成できるよう、コンテンツ(掲載情報・内容)管理システムを導入することにより、情報量・内容の充実及び更新の迅速化を図った。また、ホームページ専門の派遣職員によるホームページの

事業名等	事業費	内容と成果
		改良、職員育成を委託した。 ・新ホームページ構成変更委託 956,812 円 ・ホームページ作成支援委託 1,289,756 円
14 福生駅東口地下自転車 駐車場管理費負担金	3,189,186 円	福生駅地区都市再生交通拠点整備事業の一環で民間事業者の大型商業施設の建替えに伴い、地下に大規模な自転車駐車場を整備したことにより施設管理費の一部を負担し、適正な管理を図った。 ・駐車台数 自転車 2,200 台 バイク 148 台
15 市営駐車場管理及び立 体化整備事業	202,329,839 円	1 市営駐車場管理 9,554,575 円 市営駐車場の立体化に伴い、管理体制を今までの 1 人から 5 人に増員し、場内の整理、安全の確保を図った。 2 立体化整備事業 192,775,264 円 市営駐車場を立体化し駐車可能台数を 39 台から 80 台に増加し、駐車場の確保及び商業振興を図った。 ・設計監理委託料 6,870,150 円 ・市営駐車場立体化整備工事 185,905,114 円 2 階 3 層エレベーター式、1 階 30 台（身障者用 2 台含む。） 2 階 25 台、3 階 25 台 計 80 台 壁面緑化 防犯カメラ 管理棟 だれでもトイレ
16 私立幼稚園等園児保護 者負担軽減補助金	54,760,196 円	私立幼稚園等に在籍する園児の保護者に対して補助金を交付することにより、保護者の負担を軽減し、幼児教育の振興を図った。 ・私立幼稚園児保護者負担軽減補助金 延べ 8,660 人 54,422,996 円 ・幼稚園類似幼児施設保護者負担軽減補助金 延べ 72 人 337,200 円
17 幼稚園就園奨励費補助 金	36,642,775 円	私立幼稚園の設置者が園児の世帯の所得に応じ保育料等を減免する措置に対して、その減収分を幼稚園に補助することにより就園奨励を図った。 ・対象人数 528 人

(2) 民生費

事業名等	事業費	内容と成果
1 国民健康保険レセプト 確認委託	2,362,500 円	<p>医療費適正化の重点対策の一環として、保険者として診療報酬明細書による診療報酬の請求の正確さを期するため、点検調査の充実強化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容点検枚数 241,264 枚 ・診療報酬保険者負担額 A 2,886,845,221 円 ・再審査の結果減額された額 B 11,323,532 円 ・被保険者一人当たり過誤調整額 C (B / 被保険者数) 562 円 ・過誤調整率 D (B / A) 0.39 %
2 成年後見相談等福祉サ ービス総合支援事業	422,661 円	<p>判断能力が不十分な高齢者・障害者の成年後見制度の利用相談をはじめ、権利擁護相談、福祉サービスの利用援助、福祉サービス利用に際しての苦情対応等を総合的・一体的に実施した。</p> <p>相談件数(人数) 25件</p>
3 障害認定(特別障害者手 当等分)判定医の設置	20,000 円	<p>特別障害者手当及び障害児福祉手当の新規認定申請者に対する障害程度の判定について、市独自の判定医を設置し適正な認定の実施を図った。</p>
4 地域福祉推進事業	6,539,000 円	<p>市内の非営利団体が実施する福祉サービス等の事業に対し、地域に根ざし、安定した運営が確保されることを目的に、移送サービス及び家事援助サービスに要する経費の一部を補助することにより、高齢者、障害者等の在宅福祉サービス等の普及及び拡大を図った。</p>
5 老人保健施設借入金利 子補給金	3,775,596 円	<p>介護老人保健施設の整備を行う設置者に対し、その資金の借入れに係る利子の一部を福生市が補助することにより、施設の整備及び拡充を促進し、もって療養環境と老人福祉の向上を図った。</p>
6 加美平ゲートボール場 改修工事	1,396,500 円	<p>老人福祉の向上に資する施設であるゲートボール場について、施設環境の整備を図るため、改修工事を実施した。</p>
7 在宅介護支援センター 運営委託	51,545,635 円	<p>福生市社会福祉協議会、他の社会福祉法人及び医療法人社団に在宅介護支援センター事業を委託し、在宅の要介護高齢者等及びその家族等に対し、在宅介護の総合的な相談に応じるとともに、必要に応じた保健福祉サービスが受けられるよう、関係機関との連絡調整及び実態把握を行い、要介護高齢者等の福祉の向上を図った。</p>

事業名等	事業費	内容と成果
8 高齢者住宅事業	21,161,378 円	<p>地域高齢者住宅計画に基づき、市営住宅及び民間借上住宅に、生活協力員を配置した高齢者住宅を確保し、高齢者が住み慣れた街で安心した生活が営めるよう努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二市営住宅高齢者住宅（B棟） 11戸 生活協力員住宅 1戸 ・市営借上高齢者住宅（シルバーピア熊川） 11戸 生活協力員住宅 1戸 ・都営熊川アパート（22・23号棟） 38戸 生活協力員住宅 2戸 ・市営借上高齢者住宅（シルバーピア福生） 18戸 生活協力員住宅 1戸 ・市営借上高齢者住宅（シルバーピア熊川第二） 16戸 生活協力員住宅 1戸 ・市営借上高齢者住宅（シルバーピア北田園） 18戸 生活協力員住宅 1戸
9 特別養護老人ホーム建設費補助金	32,205,000 円	<p>老人福祉施設の整備を行う設置者に対し、その建設費の一部を福生市が補助することにより、施設入所待機者の軽減を図り、もって老人福祉の向上を図った。</p>
10 高齢者在宅サービスセンター等建設費補助金	28,003,788 円	<p>老人福祉施設の整備を行う設置者に対し、その建設費の一部を福生市が補助することにより、通所による各種サービスや常時介護を必要とする高齢者を一定期間預かるなどの事業が行われることにより、高齢者の在宅生活の支援を図った。</p>
11 高齢者生きがい活動支援 デイサービス事業委託	45,133,380 円	<p>在宅において比較的自立した生活ができる高齢者に対し、通所による生きがい趣味活動、日常動作訓練等の各種サービスの提供を行った。</p> <p>更に、高齢者の生きがいづくり及び心身機能の維持向上を図るとともに、介護予防及び閉じこもり防止に資するため、福生市社会福祉協議会及び他の社会福祉法人に運営委託し、福祉の向上を図った。</p>
12 介護予防読本作成	399,000 円	<p>介護予防の重要性を認識してもらい、介護予防の意識啓発を図るため東京都と共同して作成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果品 中年からの介護予防読本 - すばらしい「若い」を求めて ・規格 A4判 68ページ ・部数 4,000部
13 老人医療レセプト確認 事務委託	2,520,000 円	<p>医療費適正化の重点対策の一環として、老人医療診療報酬明細書による診療報酬の請求の正確さを期するため、点検調査の充実強化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容点検枚数 154,671枚 ・総医療給付額 A 3,186,407,536円 ・再審査の結果、減額された額 B 47,664,450円 ・受給者一人当たり過誤調整額 C (B / 平均受給者数) 9,193円 ・過誤調整率 D (B / A) 1.50%
14 訪問介護利用者負担額 助成	11,278,631 円	<p>訪問介護を利用する居宅要介護被保険者又は居宅要支援被保険者の低所得者に対して、法施行に伴う利用者負担額の激変緩和の観点から、利用者負担額の一部を助成した。</p>

事業名等	事業費	内容と成果
15 障害認定（児童扶養手当分）判定医の設置	10,000 円	児童扶養手当の新規認定申請者に対する障害程度の判定について、適正な認定の実施を行った。 ・判定件数 1 件
16 子ども家庭支援センター開設準備	3,405,131 円	子どもとその家庭に関するあらゆる相談に応じ、関係機関と連携・協力をしながら子育て支援を実施する「子ども家庭支援センター」を開設するに当たり、施設整備を図った。 ・設置場所 福生市福祉センター 2 F ・開設時期 平成 17 年 4 月 1 日（事業開始：平成 17 年 7 月 1 日） ・設備工事費（電気設備、電話回線及び相談室設置工事） 2,419,846 円 ・備品、その他費用 985,285 円

（３）衛生費

事業名等	事業費	内容と成果
1 成人歯科健康診査委託	459,137 円	歯の喪失予防のため、40 歳、50 歳、60 歳及び 70 歳を対象に実施した。 ・受診者 107 人 ・問診、歯周組織検査等
2 乳がん検診委託	2,221,944 円	40 歳以上の受診者には、発見率の高いマンモグラフィを導入するとともに受益者負担金を設け実施した。 ・30 歳代受診者 177 人 ・40 歳代受診者 116 人 受益者負担金 1,300 円/人（2 方向） ・50 歳以上の受診者 231 人 受益者負担金 800 円/人（1 方向）
3 環境学習教員研修	70,000 円	市内小・中学校の教員を対象に、環境学習の視点、方法等について研修を行った。 ・全 4 日間 ・環境学習講師謝礼 70,000 円
4 福生市地域新エネルギービジョンの策定	6,534,000 円	分散化によるエネルギーの安定供給、化石代替エネルギーによる地球温暖化問題の改善及び地域の新規産業・雇用の創出に寄与することを目的として、地域新エネルギービジョンを策定した。 ・実施内容 市内エネルギー調査 市民アンケート 市民会議の開催 ・福生市地域新エネルギービジョン策定委員報酬等 255,000 円 ・福生市地域新エネルギービジョン策定委託料 6,279,000 円
5 玉川上水散策絵図	178,132 円	福生市内を流れる玉川上水の散策ルートを色分けして散策マップを作成した。 ・成果品「玉川上水散策絵図」 ・規格 594mm × 210mm ・部数 5,000 部 ・印刷製本費 178,132 円

事業名等	事業費	内容と成果
6 「かんきょう通信」の発行	1,378,192 円	市民との協働により、年4回、「かんきょう通信」を発行した。 ・かんきょう通信 第8号～第11号発行 ・ダブロイド版 二つ折り ・部数 28,000部×4回 ・印刷製本費 611,520 円 ・配布委託料 766,672 円
7 ふっさ環境フェスティバル	1,200,000 円	「ふっさ環境フェスティバル」を開催するに当たり、公募市民による実行委員会が企画運営し、展示、体験型プログラムを実施した。 ・場所 多摩川中央公園 ・日時 平成16年5月30日(日) ・ふっさ環境フェスティバル運営委託費 1,200,000 円
8 ふっさ水辺の楽校	774,000 円	水辺の楽校運営協議会との協働により、子どもが安全に川に親しみ、自然体験が出来る場を設けた。 ・水辺の楽校運営委託料 774,000 円
9 市民環境大学	536,000 円	環境問題の意識啓発を目的に、講座を開設した。 ・実施内容 基礎講座・自然観察等を実施 全8回 特別講座2回 ・市民環境大学運営委託料 536,000 円

(4) 商工費

事業名等	事業費	内容と成果
蛸まつり補助金	1,431,000 円	地域住民によって催される蛸まつりに対し、地域の活性化に寄与する事業として補助金を交付した。 平成16年度は、来場者の利便を図るために案内誘導用横断幕3枚の購入費について臨時的に補助金を増額した。

(5) 土木費

事業名等	事業費	内容と成果
1 ペDESTリアンデッキ 等管理費負担金	1,512,252 円	福生駅地区都市再生交通拠点整備事業の一環で民間事業者の大型商業施設の建替えに伴い、道路を整備したことにより施設管理費の一部を負担し適正な管理を図った。
2 道路新設改良事業	154,787,977 円	<p>1 市道幹線 -13 号線改良事業費 28,751,208 円 道路幅員 7.0m を 10.0m に拡幅し、右折レーンを設け、渋滞の緩和及び交通安全を図ることを目的として用地の測量を実施した。 ・土地測量委託料 294,000 円 ・土地鑑定委託料 221,550 円 ・用地買収費 27,710,170 円 ・家屋及び工作物等補償料 525,488 円</p> <p>2 市道第 96 号線改良事業費 9,807,000 円 道路幅員 7.5m を 8.5m に拡幅することで地域住民の生活環境の向上が望めるため、改良工事を実施した。 延長 101.6m、幅員 6.5m ~ 8.5m、歩道舗装面積 98.9 m²、車道舗装面積 594.9 m² ・土地測量委託料 357,000 円 ・工事請負費 9,450,000 円</p> <p>3 市道第 236 号線改良事業費 8,349,225 円 道路幅員 3.3m を 4.0m に拡幅することで緊急車両の通行も可能になり、併せて熊川分水保全のモデル地区として整備するため、用地買収を実施した。 ・土地鑑定委託料 152,250 円 ・用地買収費 3,444,010 円 ・家屋及び工作物等補償料 4,752,965 円</p> <p>4 拝島駅自由通路整備事業費 104,447,044 円 拝島駅の南北を結ぶ自由通路及び JR、西武鉄道の橋上駅舎の概略設計及び詳細設計を行った。 ・設計委託料 104,447,044 円</p> <p>5 道路照明灯貼り紙防止塗装工事 2,940,000 円 道路照明灯に貼り紙を防止する塗装を 60 基実施した。 ・工事請負費 2,940,000 円</p> <p>6 市道幹線 - 21 号線他 1 路線除草委託 493,500 円 田園西地区土地区画整理事業の完了に伴い市道幹線として適正な管理を行うため、法面の除草 2,112 m² を 2 回実施した。 ・除草委託料 493,500 円</p>

事業名等	事業費	内容と成果
3 緊急道路整備事業	149,275,412 円	<p>市道幹線 - 5号線改良事業 149,275,412 円</p> <p>歩行者の通行の利便性を向上させるため歩道幅員を2.5mから3.5mに拡幅し、併せて交通安全の確保を目的として改良工事を実施した。</p> <p>延長608.5m、幅員16.0m、歩道舗装面積3,156.0㎡、車道舗装面積5,800.0㎡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地測量委託料 2,126,312 円 ・監理委託料 2,961,000 円 ・工事請負費 144,188,100 円
4 福生駅構内エレベーター等整備事業補助金	60,000,000 円	<p>高齢者や障害者が鉄道を安全かつ円滑に利用できるようにするため、鉄道事業者が実施するバリアフリー化整備事業に要する経費の一部を補助した。</p> <p>「バリアフリー化設備」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福生駅構内にエレベーターの新設（1基、11人乗り、車椅子対応） ・連絡通路の新設（幅員2.2m、延長29.0m） ・だれでもトイレの新設（1箇所） <p>「経費内訳」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体経費 212,562,123 円 ・国庫補助金 38,800,000 円 ・福生市補助金 60,000,000 円 <p>（この内、東京都補助金 30,000,000 円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道事業者負担金 113,762,123 円
5 都市景観基本計画策定委託事業	4,515,000 円	<p>市民による福生まちづくり景観会議を立ち上げ、市民会議及びまち歩きを実施し、福生市の現状と課題の整理を行い、目標とする景観像を設定し、市民・事業者とともに取り組む施策を整理し、基本計画を実現するための手法・仕組、支援制度等についての検討を行った。</p> <p>提案された「福生まちづくり景観基本計画市民プラン」は、平成17年度の景観基本計画策定の基礎となるものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果物 <ul style="list-style-type: none"> 都市景観基礎調査報告書 都市景観意識調査報告書 市民プラン提案書（平成17年2月24日提案） （モノクロ一部カラー版下原稿・CD-ROM） ・景観フォーラムの実施（平成17年2月5日）
6 都市計画道路3.4.31号線（柳通り）整備事業（都市計画道路整備事業）	83,139,674 円	<p>東京都では、本路線を平成8年3月に策定した「多摩地域都市計画道路の第二次事業化計画」の前期事業化予定路線と市施行の位置付けをし、平成17年度を目途に完成すべき路線とした。</p> <p>本路線は、近年交通量が増加しており、また、幅員も狭く歩道もなく危険な状況にある。よって、歩行者等の安全と歩行空間を確保するため、平成12年度に着手し、平成17年度完成を目途にして事業を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 委託 <ul style="list-style-type: none"> ・不動産鑑定委託 一式 ・土地評価書作成委託 一式 ・道路詳細設計委託 一式 ・土質調査委託 一式 2 管理工事等 4件 <p>内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 不動産鑑定委託料 443,100 円 土地評価書作成委託料 117,600 円 道路詳細設計委託料 2,205,000 円 土質調査委託料 840,000 円 管理舗装及び管理施設工事 704,431 円 用地買収費 78,768,960 円 事務費等 60,583 円

事業名等	事業費	内容と成果
7 田園西土地区画整理事業	19,863,689 円 内訳 業務委託料 9,455,741 円 事務費等 121,687 円 清算交付金 10,286,261 円	(財)東京都新都市建設公社に業務を委託し、換地処分公告の翌日に確定する権利者を調査し、変更通知・区画整理登記・清算事務(清算金確定通知、交付・分割徴収等)を行った。また、竣功を記念して式典を行った。 (委託内容) ・変更通知 8 件 ・区画整理登記 土地 103 件 建物 50 件 ・清算金確定 交付 25 件 徴収 28 件 ・竣功記念式典 平成 16 年 4 月 8 日
8 公園遊具点検委託	1,071,000 円	公園内の遊戯施設の状態を適切に把握し改善するため、資格を有した点検員による公園遊具の点検委託を行った。 (市内全公園)
9 福生南公園内池設置事業	1,438,500 円	市民の憩いの場として、福生南公園内にじゃぶじゃぶ池を設置するため、当該施設の実施設設計を委託した。
10 原ヶ谷戸緑地(仮称)新設事業	1,043,576,174 円	市内に残された貴重な緑地を保全するとともに、市民の憩いの場として提供するため、本年度は、福生市大字福生字志茂 194 番地 1 外 19 筆の面積 7,438.79 m ² の用地買収を行った。 また、実施設計も行った。 ・土地鑑定委託料 1,646,400 円 ・土地測量委託料 664,650 円 ・実施設計委託料 4,935,000 円 ・用地買収費 1,036,113,308 円 ・事務費等 216,816 円
11 第二市営住宅A棟及びB棟の自転車置場に風除けのパネルを設置 場風除パネル設置工事	1,575,000 円	第二市営住宅A棟及びB棟の自転車置場に風除けのパネルを設置し、利用者の利便性を図った。
12 市営借上高齢者住宅借上料	41,040,000 円	民間において建設した集合住宅を、高齢者住宅として市が借上げることにより、高齢者の居住施設の確保を図り、もって、高齢者の福祉の向上を図った。 ・市営借上高齢者住宅(シルバーピア熊川) 11 戸 生活協力員住宅 1 戸 ・市営借上高齢者住宅(シルバーピア福生) 18 戸 生活協力員住宅 1 戸 ・市営借上高齢者住宅(シルバーピア熊川第二) 16 戸 生活協力員住宅 1 戸 ・市営借上高齢者住宅(シルバーピア北田園) 18 戸 生活協力員住宅 1 戸
13 市営借上高齢者住宅建設費補助金	49,420,000 円	高齢者の居住施設の確保に資するため、民間が建設した高齢者住宅について、建設費の助成を行った。 ・シルバーピア北田園 市営借上高齢者住宅 18 戸 生活協力員住宅 1 戸

(6) 消 防 費

事業名等	事業費	内 容 と 成 果
1 地域防災計画作成委託	3,255,000 円	<p>国の防災業務計画や東京都の地域防災計画の修正等を勸案し、現状に合った修正を行うとともに、福生市の特性を考慮したうえで、本市で起こりうる航空機事故、テロ災害等の対策も含んだ地域防災計画の見直しを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成部数 250 部
2 防災行政無線屋外子局移設工事	1,512,000 円	<p>武蔵野台公園に既設されていた屋外子局を、水道事務所敷地内へ移設工事を行った。</p>
3 避難所用備蓄倉庫の設置	1,407,000 円	<p>指定避難場所である福東会館のための備蓄倉庫を、拝島駅北口自転車駐車場脇市有地に設置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 基 ・ サイズ：6,000mm × 2,350mm × 2,400mm ・ ステンレス加工 断熱材使用
4 災害備蓄品配備	8,767,657 円	<p>災害時に備え、食糧と備品の配備をした。</p> <p>食糧 2,241,330 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乾パン：3,000 缶 ・ アルファ米：3,000 食 ・ 3 日間食糧セット：2,700 食 ・ 粉ミルク：100 缶 <p>備品 1,577,152 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難所用救急箱（セルフケアセット）：1 セット ・ 避難所用発電機セット：1 セット ・ 災害用簡易ベッド：2 台 ・ 災害用簡易トイレ：1 基 ・ 折りたたみ式担架：5 台 ・ キャスター付き担架：3 台 <p>また、新潟県中越地震支援物資提供に伴い不足した備品の補充をした。</p> <p>備品 4,949,175 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毛布：1,500 枚 ・ 災害用簡易トイレ：1 基 ・ ワンタッチトイレ：20 セット
5 耐震性貯水槽新設事業	32,004,000 円	<p>災害時の水利確保のため、耐震性貯水槽 2 基を設置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置場所 福生市大字福生 196 番地 7 原ヶ谷戸緑地内 福生市南田園三丁目 15 番地 1 桜公園内 ・ 規模 100 m³級鋼製耐震性貯水槽 ・ 設計委託料（2 基） 1,764,000 円 ・ 監理委託料（2 基） 1,050,000 円 ・ 工事請負費（2 基） 29,190,000 円

(7) 教育費

事業名等	事業費	内容と成果
1 育英資金補助金	3,348,000 円	育英資金を一人月額 9,000 円から 9,300 円に増額し、育英資金制度を充実させることにより、保護者負担の軽減と教育の機会均等を図った。 ・実績 月額 9,300 円 × 12 箇月 × 30 人 (受給者)
2 教育広報「福生の教育」の発行	1,760,635 円	今年度から、「福生の教育」の発行回数を年 4 回に増やし、福生市の教育について、更に広く市民への周知を図った。 ・規格 タブロイド版 1 色印刷 4 ページ ・内容 教育方針及び教育目標や教育全般の事業紹介等 ・発行部数 1 回当たり 28,000 部 ・印刷代 856,127 円 ・配布委託料 904,508 円
3 専任教育相談員配置事業	7,272,000 円	専任教育相談員を 1 名増員して計 3 名の体制とし、教育相談室の更なる機能充実を図った。
4 中学校適応指導補助員配置事業	2,649,960 円	適応指導補助員を各中学校に 1 名配置し、在籍学級不適応生徒の生活指導及び教科指導を行った。
5 自走式階段昇降機購入	1,275,750 円	通常の学級に在籍する身体に障害のある児童の安全確保等を行うため、第三小学校と第四小学校に 1 台ずつ設置した。
6 健康診断器具滅菌委託	543,899 円	耳鼻科・歯科健康診断及び就学時健康診断に使用する検診器具(児童・生徒に直接使用するもの)の高圧蒸気滅菌を行い、感染症予防を図り、衛生的かつ安全な健康診断を実施した。 ・歯鏡(単価 30 円) 4,979 本 156,838 円 ・探針(単価 30 円) 1,019 本 32,098 円 ・鼻鏡(単価 50 円) 4,934 本 259,035 円 ・耳鏡(単価 30 円) 2,614 本 82,341 円 ・舌圧子(単価 20 円) 647 本 13,587 円
7 第七小学校創立 30 周年記念誌作成	413,608 円	第七小学校創立 30 周年事業の記念誌発行に対して補助を行った。
8 第一小学校防音機能復旧(復機)事業	128,112,972 円	既設空調設備機器が、老朽化し機能が低下したため、空調設備機器の取替工事を実施し、室内環境の改善整備を図った。 ・監理委託料 2,172,450 円 ・工事 125,895,000 円 ・事務費等 45,522 円
9 第二小学校内装改良事業	74,017,423 円	新校舎の老朽化に伴う内装改良工事と併せて便所の改良工事を行うことにより、施設環境の向上を図った。 ・監理委託料 1,580,250 円 ・工事 72,399,600 円 ・事務費等 37,573 円

事業名等	事業費	内容と成果
10 第五小学校便所改良事業	28,739,703 円	<p>校舎内トイレの老朽化による臭気が激しかったため、便所工事を行い乾式に変更し、児童の校内生活環境の向上を図った。</p> <p>(東側)男子便所(乾式)4箇所 女子便所4箇所(乾式)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監理委託料 815,850 円 ・工事 27,909,000 円 ・事務費等 14,853 円
11 新入学生徒学用品扶助 (標準服分)	1,281,000 円	<p>中学校新入学生徒の保護者負担軽減を図るため、学用品等購入費(標準服分)の扶助単価の増額を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 122 人 ・標準服購入費 1,281,000 円 <p>(1人当たりの扶助額 10,500 円)</p>
12 中学校昼食対策事業	300,058,084 円	<p>生徒の心身の健全な育成を図る昼食事業を実施するため、第二中学校ランチルームの新築工事を行った。ランチルームは、弁当併用、複数メニュー、学年集会や学年保護者会等にも利用可能な多目的ホールを設置し、食事を楽しむ環境の整備、業者委託を基本とする中学校昼食対策の方針に添って整備した。</p> <p>また、名称については学校が「ふたばルーム」と名づけた。</p> <p>整備事業費 281,953,436 円</p> <p>内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監理委託料 3,134,250 円 ・工事 278,717,250 円 ・事務費等 101,936 円 <p>第一中学校ランチルーム「フォレストホール」が本格稼働した。(利用状況は事務報告部門に掲載)</p> <p>また、第二中学校ランチルームの本格実施に際して、多くの方々に理解してもらうために第二中学校の生徒及び保護者並びに第一小学校、第四小学校及び第六小学校の児童及び保護者に対して試食会を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォレストホール事業費 13,871,865 円 ・試食会事業費 4,232,783 円
13 「《修正》福生市生涯学習推進計画」策定事業	232,680 円	<p>平成16年度に生涯学習推進計画の計画期間が終了することに伴い、従前計画の考え方を継続して一部に必要な修正を加え、行政各分野の施策を更に総合的に整備・充実するため、平成17年度～平成21年度を計画期間とする「《修正》福生市生涯学習推進計画」を策定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果品 「《修正》福生市生涯学習推進計画」A4判 400部
14 こども110番の家事業	367,700 円	<p>児童・生徒等が犯罪等に巻き込まれることを未然に防ぐため、身の危険を感じた際に助けを求める事ができるように、地域の住民や商店等の理解と協力のもと、居宅、店舗等を緊急避難場所として登録し、避難してきた児童・生徒等を保護するとともに、110番通報等の措置を講じてもらえるよう、防犯環境の整備を図った。</p> <p>なお、避難場所の目印として、小旗を設置し、各避難場所について傷害保険の加入を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小旗購入 1,000本×290円×1.05=304,500円 ・保険加入 632人×100円=63,200円

事業名等	事業費	内容と成果
15 市民会館等リニューアル事業	9,345,000 円	平成 15 年 9 月作成の福生市民会館等リニューアル調査事業報告書、市民からの意見や要望等に基づき、防音・遮音性能の向上、バリアフリーへの対応、耐震補強、老朽化への対応、サイン・案内板の充実、ロビーや展示室の刷新等を基本とし、実施設計書を作成した。 ・設計委託料 9,345,000 円
16 低公害車購入等	750,000 円	公用車の買替えにおいて公害防止、環境保全及び地球温暖化防止に配慮し、低公害車を購入した。 購入した課 市民会館 750,000 円
17 パソコン及び周辺機器等の買替え	523,735 円	チラシづくりやCD・DVDによる記録の保存が効率よくできるよう、パソコン一式(ソフトウェアを含む。)の購入により、公民館松林分館の事務環境の整備を図った。
18 CD(コンパクトディスク)修復用研磨機購入	261,975 円	CDの貸出しは、平成3年から開始され、多くの市民に利用されており、購入から10年以上経過した利用頻度の高いものについては、キズを原因とした「音とび」といった支障が生じることがあり、光ディスク研磨装置を購入し、キズを修復し、再度貸出しができるよう利用環境の整備を図った。 購入 中央図書館

2 国民健康保険特別会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 一般被保険者療養給付費給付	1,918,399,735 円	一般被保険者の疾病及び負傷に対して療養の費用を給付した。 ・一般被保険者一人当たり費用額 159,105 円 ・一般被保険者一人当たり保険者負担額 114,163 円 ・受診率 1,018.37 % ・1件当たり費用額 15,624 円
2 退職被保険者等療養給付費給付	842,039,298 円	退職被保険者等の疾病及び負傷に対して療養の費用を給付した。 ・退職被保険者等一人当たり費用額 343,250 円 ・退職被保険者等一人当たり保険者負担額 250,980 円 ・受診率 2,028.52 % ・1件当たり費用額 16,921 円
3 一般被保険者療養費支給	31,612,153 円	療養の給付を行うことが困難であると認めるとき若しくは緊急その他やむを得ない理由によると認めるとき又は柔道整復師による施術を受けたときは、療養の費用を一般被保険者に支給した。 ・一般被保険者一人当たり費用額 2,630 円 ・一般被保険者一人当たり保険者負担額 1,881 円 ・支給件数 4,118 件 ・1件当たり保険者負担額 7,677 円

事業名等	事業費	内容と成果
4 退職被保険者等療養費支給	13,146,652円	療養の給付を行うことが困難であると認めるとき若しくは緊急その他やむを得ない理由によると認めるとき又は柔道整復師による施術を受けたときは、療養の費用を退職被保険者等に支給した。 ・退職被保険者等一人当たり費用額 5,380円 ・退職被保険者等一人当たり保険者負担額 3,919円 ・支給件数 1,468件 ・1件当たり保険者負担額 8,955円
5 一般被保険者高額療養費支給	173,965,025円	一般被保険者が、同じ月内に同じ病院、薬局等で支払うべき一部負担金（食事療養に係る標準負担額を除く。）が72,300円（上位所得者については139,800円、低所得者については35,400円）を超えた場合に支給した。 ・支給件数 1,913件 ・1件当たり保険者負担額 90,938円
6 退職被保険者等高額療養費支給	73,045,347円	退職被保険者等が、同じ月内に同じ病院、薬局等で支払うべき一部負担金（食事療養に係る標準負担額を除く。）が72,300円（上位所得者については139,800円、低所得者については35,400円）を超えた場合に支給した。 ・支給件数 758件 ・1件当たり保険者負担額 96,366円
7 出産育児一時金支給	54,000,000円	被保険者が出産したとき、当該世帯主に対して出産育児一時金を支給した。 ・支給件数 180件 ・1件当たり支給額 300,000円
8 葬祭費支給	8,850,000円	被保険者が死亡したとき、その葬祭を行った者に対して葬祭費を支給した。 ・支給件数 295件 ・1件当たり支給額 30,000円
9 結核・精神医療給付金支給	2,207,577円	被保険者が、「結核予防法」及び「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」に基づく給付を受けた場合に、自己負担額（高額療養費を含む。）を支給した。 ・支給件数 3,040件 ・1件当たり支給額 726円
10 老人保健拠出金	1,284,207,868円	老人保健法による被保険者の健康の保持と適切な医療の確保を図るため、社会保険診療報酬支払基金に対し、医療費及び事務費を拠出した。 ・医療費拠出金 1,268,950,014円 ・事務費拠出金 15,257,854円
11 介護納付金	326,190,789円	介護保険法による介護給付費に充てるため、国保加入者のうち40歳以上64歳までの第2号被保険者数に応じ、社会保険診療報酬支払基金に介護納付金を納めた。 41,665円×7,258人 + 23,786,219円（平成14年度精算分）
12 高額療養費資金貸付	42,084,393円	被保険者の一部負担金の軽減を図るため、高額療養費に相当する資金を貸し付け、被保険者の療養の給付と生活の安定を図った。 ・貸付件数 164件 ・貸付金額 42,084,393円 ・費用額 164,781,620円

事業名等	事業費	内容と成果
13 出産育児一時金資金貸付	5,760,000 円	出産育児一時金の支給を受けることが見込まれる被保険者に対し、出産に必要な資金を貸し付け、被保険者の療養の確保を図った。 ・貸付件数 24 件 ・1 件当たり貸付金額 240,000 円
14 保養施設宿泊費補助	173,000 円	被保険者の健康の保持、増進を図るため、市長が指定する保養施設を利用した被保険者の宿泊費の補助を行った。 ・補助対象者 59 人

3 老人保健医療特別会計

事業名等	事業費	内容と成果
老人医療給付	3,257,675,351 円	70 歳(平成 14 年 10 月からは 75 歳)以上(寝たきり状態等の人は、65 歳以上)の者を対象に医療給付を行った。

4 介護保険特別会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 介護サービス等給付費	2,191,900,994 円	要介護認定(要介護度 1 から 5)を受けた被保険者で、在宅又は施設入所者に対して、介護サービスを給付した。
2 支援サービス等給付費	43,617,818 円	要支援認定を受けた被保険者に対して、支援サービスを給付した。
3 審査支払手数料	3,095,100 円	介護給付費及び公費負担医療等に関する審査及び支払事務を東京都国民健康保険団体連合会に委託した。
4 高額介護サービス費	17,859,370 円	要介護認定を受けて介護サービスを利用している被保険者に対して、サービスの利用者負担の合計が、利用者負担上限額を超えた分について高額介護サービス費を支給した。
5 主治医意見書作成料	7,890,441 円	要介護認定・要支援認定申請に基づき、介護認定審査会でどの程度の介護が必要かを審査判定するために、主治医等に主治医意見書の作成の依頼を行った。
6 要介護認定調査委託	1,030,260 円	要介護認定・要支援認定申請に基づき、介護認定審査会でどの程度の介護が必要かを審査判定するために、介護保険施設及び指定居宅介護支援事業者等に要介護認定(訪問)調査を委託し、事務の効率化を図った。
7 認定調査嘱託員報酬	4,878,000 円	要介護認定・要支援認定申請に基づき、介護認定審査会でどの程度の介護が必要かを審査判定するために、嘱託員を採用し、市民に対して公平に、要介護認定(訪問)調査を実施し、事務の効率化を図った。
8 介護保険相談員報酬	1,980,000 円	サービス利用者、事業者又はサービス従事者からの相談、苦情等の処理を行うため、嘱託職員を採用、円滑な介護保険の運営を図った。 また、介護保険相談日を週 2 日から週 4 日(火曜日から金曜日)に拡大した。
9 介護保険関係電算機器借上	1,731,808 円	平成 11 年度に国庫補助金で購入及び借上げた機器の期間満了に伴う入替えと、機器の容量不足や多発する故障への対応として電算機器を借上げ、介護保険事務の効率化を図った。